

# J A 5 A G を偲ぶ



アマチュア無線をこよなく愛し、その生涯をHAMに捧げた男

**J A 5 A G 太田 等**

e x J 4 C M (戦前のコールサイン)  
J A 9 - 1 (SWLナンバー)

J A R L 香川県支部顧問  
J A R L 香川クラブ名誉会員  
同 技術担当役員

2 0 0 3 年 4 月 3 日 永眠  
享年 8 8 歳

# JARL香川クラブ

## JA5AG 太田 等さんとの出会い

JARL香川クラブ 会長

JA5AHM 天野英弘

JA5AG太田さんとの出会いは1961年（昭和36年）1月であった。国家試験対策のために「JARL香川クラブ」が開催した講習会の時である。

私は当時まだSWLのクラブ員であったが、その年の4月期の国家試験にクラブから何人か松山へ受験に行った。その結果、県内初のYLさんや最少年の合格者が出て、マスコミの話題にもなった。その仲間の一人として私も5月に従免を手にすることができた。

試験を終えて、松山から鈍行列車に乗り何時間もかけて高松へ帰ったが、太田さんは私たちのために松山まで同行してくれた。

従免は手にしたものの、開局準備に大変苦労したものである。

自作のTXがうまく動作せず、太田さんのお宅へ毎晩のように押しかけたのだが、太田さん



JA5AG 脇信夫高松市長 JA5AHM

がいつの間にか今年度で22年目に入ることになった。私が会長になった年に太田さんからいただいた“クジャクサボテン”は、今も私の小さな庭で育っている。

太田さんたちが結成したわが「JARL香川クラブ」は今年で55年になる。お陰で後継者は立派に成長しており、これからは天国で「JARL香川クラブ」の発展を見守っていただきたい。

ご冥福をお祈りします。

はニコニコしながら親切丁寧に教えてくださり、6ヵ月後にやっと<JA5AHM>の局免を貰うことができた。

その後、太田さんのご指導のもと、JARL香川クラブの運営に携わることになったが、非力な私をアマチュア無線から発展して文化活動の分野にまで範囲を広げることができたのも太田さんに育てていただいたという原点がある。

太田さんにお会いできなくなったのが何より寂しい。

私は、「JARL香川クラブ」の会長をワンポイント（一年間だけ）務める約束で引き受けたのだが、会長を19年間も務められた太田さんの庇護の下、一年のつもり



# J A 5 A G 太田 等OMのご逝去を悼んで

J A R L 会長

J A 1 A N 原 昌三

わが国のアマチュア無線界の大先輩、J A 5 A G 太田 等OMがご逝去されましたことに謹んで哀悼の意を表します。

太田さんは、四国におけるパイオニアのお一人として戦前からアマチュア無線を開局され、皆様方 J A R L 香川クラブの重鎮としても長くその発展に尽くしてこられました。

また、評議員・監査長・支部長など J A R L のいろいろな役職にも就任され、アマチュア無線発展のためさまざまな面からご活躍され長くご貢献いただきました。

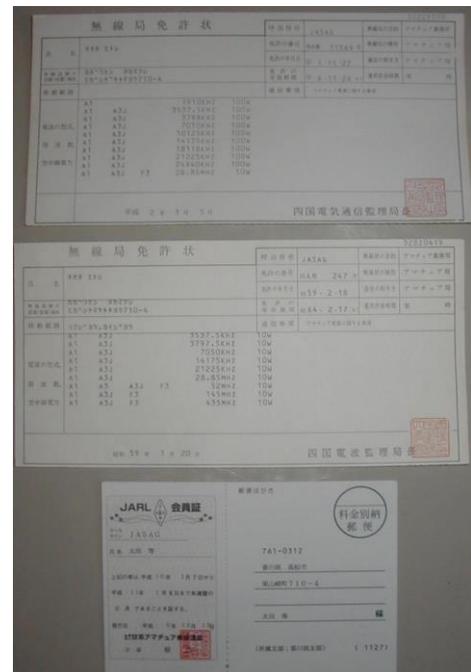
温かいお人柄で多くの方々に慕われ、後輩の指導に人一倍熱心であられた、かけがえないOMを失いまいことに残念です。

J A R L としても、これからアマチュア無線を技術・運用面から活性化し、再びその発展をめざそうというときですが、OMのアマチュア無線にかけた情熱は多くの後輩諸氏によって受け継いで行かれ、いつまでも活かされて行くものと思います。

太田さんをご高齢になられても、つい一年ほど前まで終生現役として電波を出されておられたとのことで、まだまだお元気にお空の上でもご活躍いただきたかったと、惜しまれてなりません。ご冥福をお祈り申し上げます。



←  
昭和 28 年  
頃のアマチュア  
無線局名録  
のいろいろ



←  
愛用の Q S L  
カード

太田OMと  
交信した方  
は、たぶん  
所有してい  
るでしょう

- ↑ 移動しない無線局免許状
- 中 移動する無線局免許状
- 下 J A R L 会員証



# J A 5 A G 太田 等 O M の功績を称えて

J A R L 四国地方本部長

J A 5 M G 稲毛 章

アマチュア無線を 60 余年の長きにわたって、一生の趣味として楽しんでおられた J A 5 A G 太田等さんが 4 月 3 日に亡くられました。

AG さんは戦前の昭和 9 年に 20 歳の若さで開局され、戦後再会されたときにはいち早く J A 5 A G で開局しアマ活動を開始されています。

昭和 23 年 10 月に我が J A R L 香川クラブを発足させ、クラブ活動を通じてアマ無線の再開運動をされ、昭和 27 年 7 月にアマチュア無線が再開されました。昭和 28 年には香川県下で AG さんを中心にしたアマ局勇士が集まり J A R L 四国支部を発足させ、四国内のアマ無線組織を充実させ、今日の四国地方本部や香川県支部を確立させました。

私が J A R L 香川クラブに入会したのが昭和 38 年で、昭和 40 年に AG さんからの推薦で J A R L 監査指導委員を引き受け、そして昭和 43 年に AG さんの後を受け継いで四国の監査長を受け



ました。以来 40 年近く J A R L から足が抜けられない状態です。

AG さんとは J A R L 香川クラブの行事ではいつも顔を合わすようになり、AG さんのにぎり飯づくりの上手さにはいつも感心していました。

また琴電瓦町駅前の太田模型店でのクラブミーティングに娘をつれて良く出かけたもので、AG さんはいつもにこにこしていました。

四国支部の役員会ではいつも AG さんと一緒に、泊まり込みの時は朝早くから AG さんの声で起こされていました。そして AG さんのいびきにはいつも悩まされていました。



AG さんの活躍ぶりは思い出すだけでも、ここに表せないほどのものがありますが、主なものをあげると J A R L 香川クラブ会長、J A R L 評議員、監査長、支部長などを長い期間にわたって歴任されたので、AG さんを知らない人は無いのではと云われるほどでした。

息子さんのお話では 1 年ちょっと前まで毎日電波を出しておられたそうで、全国のハムの方からも「J A 5 A G さんは何時まで元気ですな」とよく電波の上で聞かされました。

J A R L 会員としての 60 年の表彰を 9 年前に受賞されており、来年は 3 人目の 70 年会員として表彰を受けられるところでしたが、アマチュア無線活動家の模範的な惜しい人を亡くしました。

心よりご冥福をお祈り申し上げます



# 太田さんを偲んで

JA5AA 久米正雄

4月3日、JA5AG太田さんの突然の訃報に接しました。突然のお別れで愛惜の言葉ありません。思い起こすと、私が太田さんにお目に掛かったのは昭和27年2月。ところは詫間電波高校の無線従事者国家試験の受験会場でした。徳島からは私ただ一人。心細い思いで臨みましたが、高松から来られた太田さんと田中さんと自己紹介を交わし、いろいろお話を伺い本当にホッとした心地でした。お陰で落ち着きも取り戻し、さして舞い上がることもなく1アマの通信術の試験も何とかクリアでき、続く3月の学科試験にも無事3人揃って受験できました。本当に印象的な出会いでした。それ以来、半世紀に亘る長い間何かとご厚誼を頂き感謝の気持ちで一杯です。

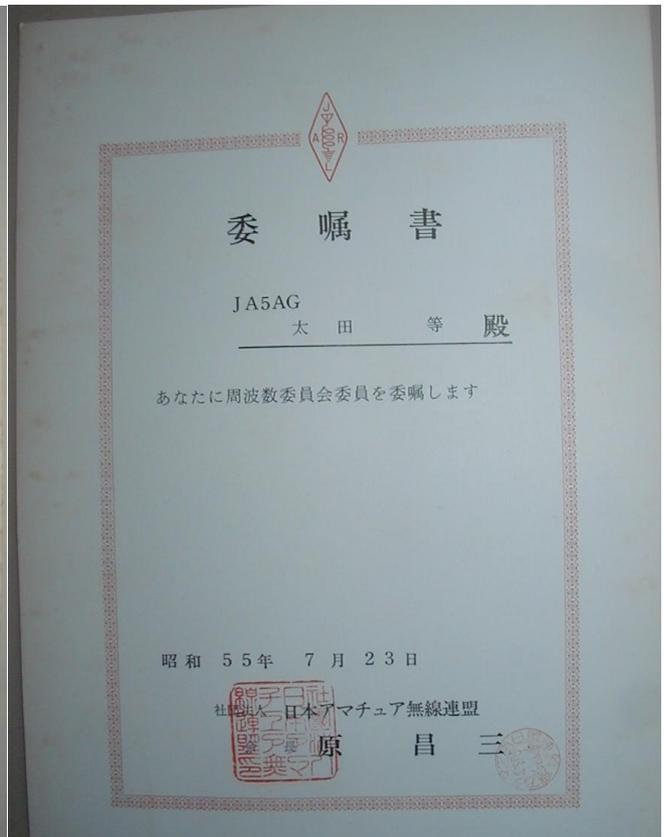
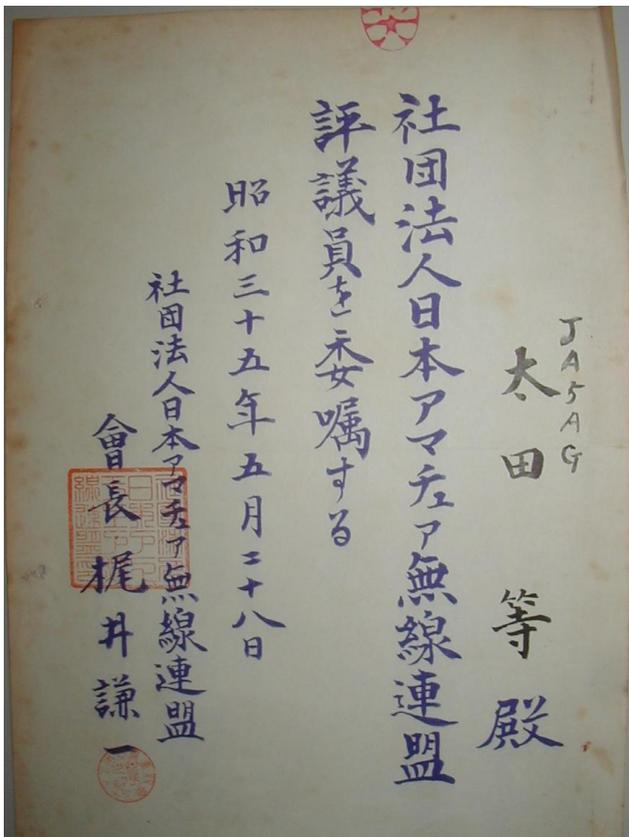
特に開局して間もない頃、JARL関西支部からの独立、JARL四国支部発足に際し、JA5AF大塚支部長を支えてご尽力されたことは忘れられません。以降、四国四県の取りまとめ役としてご努力されました。

また、いち早くJARL香川クラブを創設され、後輩の指導、クラブの発展に力を注がれたことは、当時徳島で頑張っていた私にとっても強いインパクトを受け大きな励みになりました。太田さんはほんと根っからのハムでしたね。

平成8年ごろだったですか、7メガ帯での2文字局活性化のロールコールのチャンネルで久しぶりにお会いし、その元気なお声には正直驚いたことを思い出します。ご高齢にもかかわらず度々お声を出されサービスされていました。特に若い方たちに対する温和な口調と丁寧な応接振りには、本当に頭の下がる思いがしたものです。そうしたお声ももはや耳にすることもできなくなり、まことに痛恨の限りであります。

この上は、太田先輩の安らかなご冥福を祈るばかりであります。

合掌



# 太田さんを偲んで

JA5AB 田中 実

突然の訃報に接し驚いています。  
どうしておられるかとそのうち訪ねようと思いながら一日一日過ぎてしまいました。  
太田さんには大変お世話になり、当局の今日あるのはOMのおかげです。

開局以前より思い起こせば50年以上になり、いろんな出来事が走馬燈のように巡ってきます。

昭和25～6年頃JARL香川クラブで初めてお会いし、その後詫間まで朝4時頃に起き汽車に乗り従事者国試に行ったこと。開局検査等々、若かりし頃の思い出に懐かしく感傷に耽っています。

アマチュア無線を本当に愛したと言うか、ぞっこん惚れ込んだと言うか、一生スランプがなくこよなく続けられたことは誇りに思っています。

本当に長い間お世話有り難うございました。



## 香川クラブ15年の歩み

JA5AG

10年ひと昔と言いますが、私達のJARL香川クラブも創立以来15年になります。と言いましても15年か16年かBFな頭には「さだか」ではありませんので……。当時からの会員でした現JARL四国支部長大塚OMにお聞きした所、たしか昭和23年だったろう。との事やはり今年で15年かなあーと思った次第です。(現会員でまだ生れていなかった方もいると思いますがHiHi)

創立総会はNHKの会議室(現中央通りの廃舎)で開きました。出席者20名位だったと思います。

初代会長にexJ4EA、岡本良雄氏を頂き庶務係に今香川電気通信部に居られる北谷氏でした。

丸亀のJA5AI山下OMも居られた様な気がします。

当時はアマ無線はまだ海のものとも山のものとも何しろ五里霧中。JARL本部では昭和21年9月CQ Ham Radio創刊号を発行し盟員を募集して着々体制をととのえていた時代でした。

クラブも毎月ミーティングを開いて大いに話し合い小生は一度は関西支部ミーティングに出席したこともありまして。又大阪へジャンクあさりに行ったものです。其の内JA5AB田中OMも入会された。

昭和26年になって待望の第1回のアマ国試。27年には当クラブでもJA5ABがいち早く開局してからクラブ員の顔ぶれも変わって来た。今迄開局を夢見てきた方々のほとんどがあきらめてやっとなり、5AB・5AF・5AGの3名が残ったが、そのかわりぞくぞく新しい方が入会し年毎に大きくなった。しかしクラブの活動も時には止まってしまい、有るのか無いのかわからない時期もあったり、すごくアクティブな時代もありました。

地理的に岡山県との交流も盛んで岡山地区のミーティングに行ったり、こちらへ来たりで、なかなかにぎやかでした。

昭和30年8月には小豆島在住のクラブ員と高松からおしかけたクラブ員合計20名位が、坂手港を見おろす海拔300mの洞雲山に地元のJA5CP滝川OMのお世話で1泊ミーティング。主食の米だけは各自が持参で費用全額クラブ持ち。VY・VY・FBな思い出もある。

31年には屋島山上で夜遅くまでCQ・CQ。QSOの方は疲れたが、蚊に喰われててんやわんやだったがとにかくFBだった。同年小豆島のライセンス局も多くなって小豆島クラブが誕生した。

その間支部総会も何度か開かれ各県のOM方のお顔を見る機会にめぐまれたり、電監の説明会(3.5・7MCバンド開放。VFO、OK。それにとまなう申請、届等)を高松でも開かれたり、7125KCの許可もあった。香川クラブも段々大きくなり、35年には会員数80名をオーバーしたが、坂出・丸亀地区に白扇クラブが、続いて木田地区に讃岐クラブが分離。一時は40名くらいになった。

36年4月、支部事務局を香川クラブが担当した。国試受験講習会も5回、合格者を多数出した。おかげで(講習を受けなかった方も多いが)又々現在の大所帯になったが何とんでもアクティブに事務をやって下さる委員の方々がなくてはできない事です。

誰かがというより皆で盛り上げて行けば香川クラブも益々発展する事と思います。若い方々はこのクラブの歴史を土台にしていっそう充実したもの育てJARLの下部組織としてはずかしくないクラブにして頂きたいと念願しておわりたいと思います。

(JARL香川クラブ創立15周年記念誌より抜粋)

JA5AGさんの消息が気になっていた。

2月にJA5AHM局の事務所へ行った時にも、いつものように太田さんの話が出た。

50年以上の付き合いだったが、寂しくなった。しかし、これからも頑張ってハムを続けていこうと思っている。

“ 君は君 我は我なり されど仲良き ”

JA5AP

ミーティングの席上で、クラブ発足15周年に当り、何か書いてくれる様にと頼まれたが、さて当局の生い立ちとは言う

と、今は去る何年前でありました。それはそれはとてももうらかな春の午後でした。どこかで聞いた様な文句ですネ。
そもそも私がアンマじゃないアマ無線の資格を取るに当たって書き忘れる事の出来ないのは、AG・AB OMの風速40mのようなエキサイトがあった事です。当時ラジオの方はそもそもそそやっておりますが、アマ無線の方はあまり考えていませんでした。というも、何しろご幼少の頃、ノーマークエンでもわずらったのかオツムの方、お弱くていらっしやった精だろうと思いますがHi。それでも前記40mの風圧に力を借りて、すべったりころんだりしながら、やっとこせどっこいしよと従事者免許証をもらったが、さあ其の後の大変、受信機だやれ送信機だとかアンテナの建立とか、局の免許手続・設備とあらゆる点においてAG・AB両氏のそれはそれは涙ぐましい御後援御指導のお陰を持ちまして、ようやく開局することが出来ました様な次第です。

開局後といえども前記両氏はもちろんのことCH・FI・QJ・OA氏等々沢山の先輩後輩のお世話に相成り、のりくらりと現在に至っております。とはいうものの今日迄には、ずいぶん色々な事がありました。

開局第一声のガタガタぶるい。朝鮮の局を呼出したが無応答。YL局を呼べど叫べど答えなし。やっと聞きつけた珍局を呼んでも答えなし。アンテナ電流計を見るとほんの少し電流が増しているだけだ。色々やって見てやっと思い出した。当方オヘソを取られるのがいやさに前日ゴロゴロピカピカやっていたのでSWをアース側に切替たのを忘れていた。あわ喰って切換え呼んでみたがすでに遅く珍局はQRTした後でした。残念だったが後の祭という様な失敗など書けば山ほどありますが、前記ノーマークの精か書けません。それでは物語りは後日書くとして、何はともあれクラブ発足15周年記念に当り拙文、何やら分けの分からない事を書きましたが御免

最後にクラブの今後の発展とクラブ員皆様方の御奮闘をお祈り致します。

サイナラ

(JARL香川クラブ創立15周年記念誌より抜粋)

太田さんとの思い出

JA5CH 能祖嘉吉

私が開局したのは木田郡川島町で第一声をあげました。三年後に松福町に移転しました。

ロングワイヤーアンテナを立て、「いざ交信を」と思って受信機のスイッチを入れると、全バンド一杯に「JA5AG、アメリカ・ジョージ」という信号が聴こえてきました。

それもそのはずです。300mも離れていない所と知りました。昭和32年頃であったと思います。私が出ると太田さんが出られない。(当時の電話はA3のみでSSBはまだなかった)私の変調が悪いとよく言われたものです。はじめの頃にはカーボンマイクでの運用で「ザーザー」と言う音が出、その後クリスタルマイクを使ったところ

「今度は耳により込むようなキンキン声だ」と言われながら、適当に時間を分けて、毎日毎日「ハロー、CQ、CQ」と楽しんだものです。

以降、お互いに忙しくなり近かず離れず、50年近くの付き合いでした。時々グランドではお会いしておりましたが、最後の正式の交信は1996年4月4日16時23分7MHz SSBでした。

「太田さん、天国で私の電波を聴いてください。」ご冥福をお祈りします。

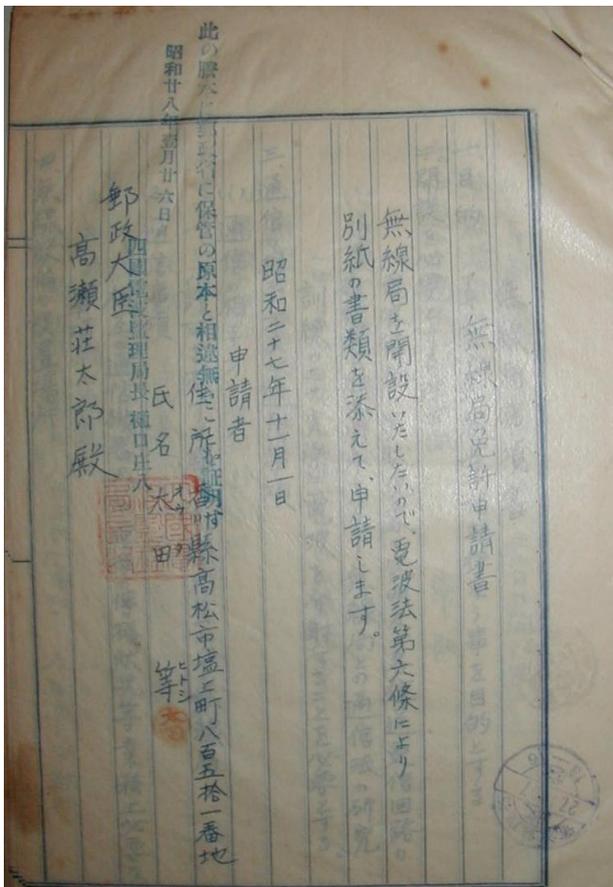
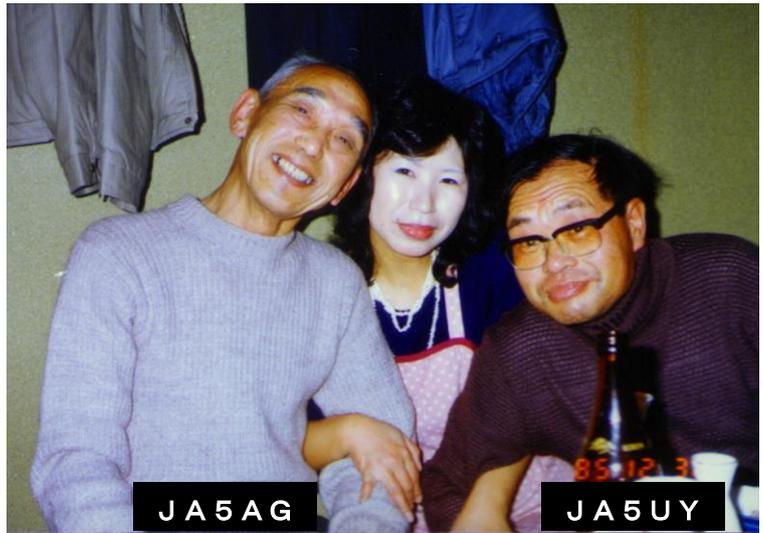


# AGさんの思い出

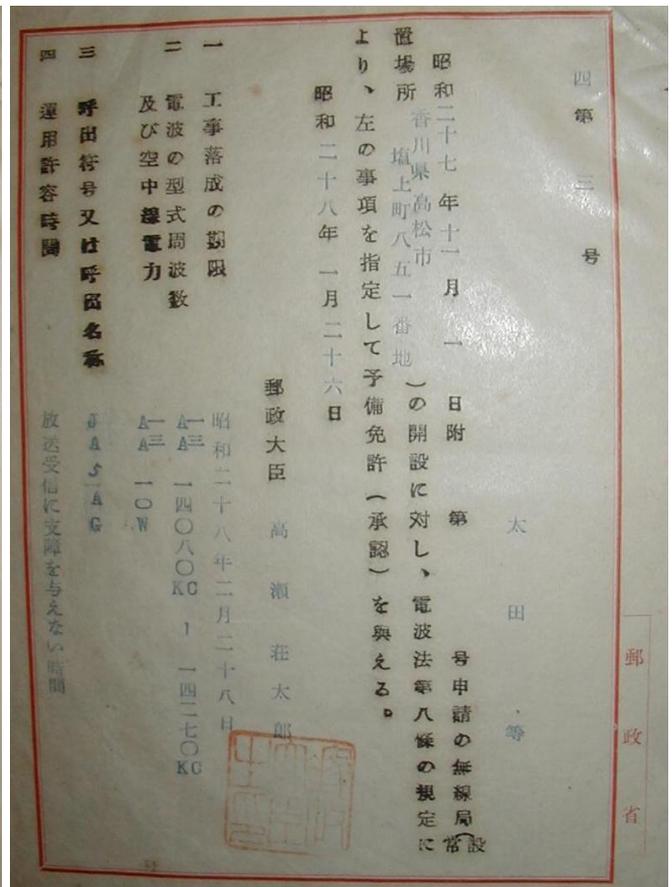
JA5UY 長尾浩孝

どうしても古い話になりますが、私がアマチュア無線を始めるにあたって、どうすればよいのか困っておりました時(43年も前のこと)築地の太田ラジオ店がAGさんだと知り相談に行ったのが始まりでした。またJARLの認定制度も始まり、多少簡単に開局出来たのもラッキーでした。それ以来ずっとご指導頂いておりました。ご冥福をお祈りいたします。

— 合掌 —



無線局免許申請書  
(昭和27年11月1日)



無線局予備免許  
(昭和28年1月26日)

## ご冥福をお祈りします

JA5KZK 喜多 信

JA5AG太田さんにはお世話になりました。大変残念です。

# AGさんありがとうございました

JA5DZM 長尾和子

1963年(S43)OMの勧めで電話級アマチュア無線養成講習会を受講しました。講師はJA5AGさん、JA5MGさんでした。丁寧に教えてくださるのですが電気、工学音痴の私はただ丸暗記で無事国家試験合格、生涯資格を得ました。

以来30余年細く長くをモットーに大変FBな趣味として続けています。

1976年(S51)3月中村市での合同支部大会にAGさんとご一緒しました。県外のYL局とも交流が出来ました。(愛媛、高知YLハムクラブとの原点になります)

1981年(S56)当時、JH5コールのアクティブなYL各局でお空も大変賑わっていました。支部長をされていたAGさんから「YLの親睦を図るためにも、YLクラブを結成しては」と勧められ準備会を重ねながらAGさんには顧問をお願いし、今日に至っています。(近年は年1回のアイボールが唯一の楽しみ)

1991年(H3)9月発行香川YLハムクラブ10周年記念誌「ふれあい」にお祝いをいただきました。当時のAGさんの想いが良く語られていますので会報から引用ご紹介させていただきます。AGさんから今届いたメッセージとして再度読み返しました。



## 10周年お目出とう御座います

月日の経つのは早いもので、私も76才になりましたが、飽きもしないで毎日CQ CQです。

息子も1962年に開局したのですが全然やる気がなく、私のリグの引継ぎ手がなく考えたあげく孫娘を引き込むことにしました。

子供は覚えも早く問題集を渡しただけで(少しは基礎も教えました)合格、1989年10月開局昨年4月に電信級も取って第3級アマチュア無線技士、あと1、2年したら2級に挑戦させる予定。うまくゆけば、シャックをすっかり渡せると、これは胸算用ですがどうなりますことか?

今は永い間無線を楽しんだのでQSLカードもたまったので全日本一万局よみうりアワードを申請できる所まできたので、本部長さん、支部長さんのお手を煩わして実行する予定。まあ元気でおれば皆様のお手を煩わすことばかりですが続けたいと思って居ります。

私ごとですがXYLいまままでに何回かもうだめかとおもいながら今日まで2人でこれました。昨年9月15日敬老の日に金婚を祝って下さいました。

皆様も日にお幸せにおすごしください。

BEST 88 GB De JA5AG 太田 等

JE5EKS亮子ちゃんと一緒に新聞記事(全日本一万局よみうりアワード達成)、有志による祝賀会のAGさんのうれしそうなお顔が思い出されます。

AGさん本当にありがとうございました。いつまでもハムをこよなく愛する人たちを見守ってください。心よりご冥福をお祈りいたします。

# たくさんの思い出をありがとうございました

JA5CBF 天野己代子



1935年1月1日撮影

いつでもどこでも、お会いするといつもニコニコと笑顔で迎えてくださる。それがJA5AG太田さんでした。その笑顔に出会うと、なぜかホッと安心したものでした。

子どもを連れて屋島のフィールドミーティングに行ったこと。また、綾川で魚取りに興じたことなど、懐かしい思い出をたくさん共有できたことを幸せに思います。

どうぞ、これからも天国でハムライフを楽しんでください。ありがとうございました。

# 太田さんありがとうございました

JA5ETK 佐藤康弘

太田さんと出会ったのは、昭和42年の夏でした。

大阪で修行をしているとき、井上電気（現在はアイコム）から50MHzのポータブルトランシーバーが出た頃です。「これからは、アマチュア無線も手軽に出来るな。高松でこれを商売にしよう。」そう思って帰郷しました。

その頃、私は他人のおしゃべりが苦手でしたから、「パーツと無線機を並べておけば、商売は出来るだろう」と安易に思っていたのです。商売を始めてすぐに、太田さんがお客さんとして来られ、そして「無線機は、免許を持っているハムショップの親父から買うものだよ。」と言われ、私はたいへんなショックを受けました。これがアマチュア無線の免許を取るきっかけになったのです。

その後、アマチュア無線のおかげで苦手なおしゃべりを克服する事が出来、すばらしいたくさんの仲間との出会いに恵まれました。

電化センターがハムショップとして今あるのは、あの時の太田さんの一言です。

どうもありがとうございました。



JA5IMF 佐藤充子

太田さん、もう一度顔が見られないと思うと、とても寂しいです。

私にとってはお父さんのような存在で、あの笑顔で「いやいや、まー何とかやっりよるけんの一」と、目玉をクリクリされると、一日中何か暖かいものをいただいたような気になっていました。

たしか、一番最初にお世話になったのは、電話級（現在は第4級）アマチュア無線技士の養成過程講習会で先生をしていただいた時だったと思います。仕事が終わって太田さんの前に座り、優しいお声を聞いているうちに瞼が重くなり、いくらがんばっても夢の国に引き込まれてしまいます。静かな口調がまるで子守唄の様に……。「今日も、よー寝よったの一」講習が終わると、いつも声をかけてくださいましたね。毎日本当にごめんなさい。

あれから30数年……。穏やかな笑顔で、飄々と歩かれる姿が今も目に浮かびます。どうぞ、天国でも楽しいハムライフを……。

# J A 5 A G 太田さんを偲んで

J A 5 E M M 苧側正明

私が近くの電気屋さん連れられて、築地の太田ラジオ店を訪ねたことがありました。綾歌町ではOMさんが一杯増えていく時で、皆が教わりに行っていたのだと今では思います。

当時は学生で、私は星を毎晩観ていました。

その記憶があつて流星を捉えるのにVHFの50MHz帯がいいのかなと思ひ、数年後アマチュア無線を始めてしまいました。

あるとき、東讃地区の免許取得講習が開催されるになり、遠く綾歌町から太田さんに誘われ寒川町まで雪の日に出掛けたことがありました。

今では大変懐かしいです。心からご冥福をお祈りします。



# 太田OMのご冥福をお祈りします

J H 5 P M Z 多田敬一



太田OMには無線の免許を取って、タワーやアンテナ工事のこと等で大変お世話になりました。

また その年の香川マラソンコンテストではめでたく144MHz 電信電話の部で5位に入賞しました。

翌年のJARL香川県支部大会で、太田OMに表彰状をいただきました。

そのときの言葉に「紅一点の逆、黒一点やなあ〜、は、は、は」と言われたことが懐かしく、今も耳に残っています。確か昭和57年3月14日の事と思います。

太田OMのご冥福をお祈りします。

— 合掌 —

J F 5 I C A 向井勝一

アマチュア無線を支えてきた超OMが、亡くなられたことは非常に残念です。ご冥福をお祈り申し上げます。

J G 5 O B X 丸山 博

太田OMのご冥福をお祈り申し上げます

# J A 5 A G 太田さんとの思い出

J A 5 I Q P 合田口正春

AGさんとの出会いは昭和46年でした。アマチュア無線をハムと呼ぶ事も知らない全くの素人だった私が講習会でお会いし、その後、築地のラジオ店に何度かお訪ねしてから今日まで何年経ったのでしょうか。私が今日あるのは、AGさんをはじめJ A R L香川県支部・J A R L香川クラブの皆様方のお陰です。

さて、数あるAGさんとの思い出の中で、特に今も忘れられないのが第21回J A R L通常総会（昭和54年5月27日・札幌市）にご一緒したときの事です。AGさんがJ A R L香川県支部長、私がJ A R L評議員の立場で札幌時計台の前のホテルで会議があったことを今も思い出します。

総会が終了後のこと。「何か思い出を作ろう」として、二人っきりで鉄道を利用して北海道北端を廻り、網走で観光バスに乗りました。その途中の事です。バスが網走刑務所の近くで止まりました。川があり橋が架かっています。

ここでこのバスガイドの言葉「ここは観光地ではありません。したがって各自で見てください」二人は顔を見合わせて笑いました。「なるほど、それもそうだなあー・・・」

その後、バスは阿寒湖に到着し二人は船でマリモを見た後、湖畔で予約なしの宿を取りました。（上の写真）

翌朝、AGさんは大阪に住む娘さんに会うため、列車の日本海周りで帰るとのことで、私はひとり、釧路から羽田を経由して高松に帰りました。

私事ですが、その日に妻（J A 5 O I B）の妹が高松の病院で息を引き取りました。まるで私の帰りを待っていたかの如くに・・・。

今も、その妹の話が出るたびに、当時のAGさんとの2人旅が思い出されます。

AGさんのご冥福をお祈りいたします。

— 合掌 —



J I 5 S A O 丸山 誠

J A 5 A G局、太田さんが、なくなられた事を同じJ A R L香川クラブのメンバーとして残念に思っています。

自分は、今年6月29日で、アマチュア無線を開局して6年になりますが、アマチュア無線をやっているいろいろありましたが、まだまだわからない事がたくさんあります。

亡くなられた太田さんやベテランの局を見習って、移動運用やARDF、そしてかなり面倒ですが2アマ、1アマまで頑張るとりたと思います。

J A R L香川クラブに入って、日がたつのは早いものでもう3年すぎましたが、太田さんと同じJ A R L香川クラブで、アマチュア無線ができた事を喜んでおります。

そして今後も、アマチュア無線をずっと続けてやっていきたいと思っております。

# J A 5 A G 太田さんを偲んで

J A R L 四国地方本部会計監査

J A 5 T F J 横田寿夫

アマチュア無線の先駆者として、そしてJ A R Lの地域のリーダーとしてご活躍され、私達、香川の誰もが何かにつけお世話になった太田さんが、正に「アマチュア界の巨星墜つ」の感で逝去されました。

あのにこやかな笑顔のAGさんが逝かれ、春雨に煙る4月4日高松市内の葬祭場でしめやかに行なわれた告別式には、先輩J A 5 A A久米さんをはじめ稲毛本部長、森国香川県支部長、天野香川クラブ会長他多数のハム仲間が参列される中、私もお別れの焼香をしました。

祭壇のお元気だった頃のAGさんのお写真から今にも「こちらはJ A 5 A G」のお声が聞こえる様で、余りにも突然のご逝去に涙を禁じ得ませんでした。

私がAGさんを知ったのは、昭和28年丸亀市のJ A 5 A Iさん宅でのミーティングでお逢いしたのが最初でした。その後、高松の公民館(今の商工中金辺り)での会合などでいろいろ話しましたが、当時の私はSWLとしての参加で、恥ずかしくて記念写真等には入りませんでした。今になると写っておくべきだったと残念です。



その後、私は高松に勤務することになり、まだ、築地にあつたAGさんのお店によくお邪魔して、店の奥に置かれた送信機(前面はジュラ板で他の面は金網張りの縦1m位、横50㎝位のもの)に向かい、調整し、卓上型カーボンマイクを手に「こちらはJ A 5 A Gどうぞ」と無線局の運用する姿を何度も見学したものでした。その都度、無線機のチューニングの取り方、ダミーの電球が変調とともに明滅することやフィーダーに乗る電波の谷と山があることなど、実際に見せ教わりましたが、これも昨日の様に私の脳裏にはっきりと残っております。

また、後には電話級の養成講習会でも経験に裏打ちされた、わかりやすい無線工学の教え方などもよく聞かせていただき大いに参考になったものでした。ご子息のお話にもありましたが、ご家庭でも家族を思いやる優しい父親だったと。そのお人柄から県下Y Lクラブの相談役も引き受けられ、常に美女に囲まれ楽しそうなAGさんでした。私達ハムライフの今があるのは、AGさんからいただいた数々のご指導の賜と深く感謝するものであります。AGさんありがとうございました。どうか安らかにお眠りください。



# J A 5 A G太田さんを偲んで

J A R L 香川県支部庶務幹事

J A 5 T O P 平賀正明

AGさんとのご縁は私が開局した次の年、昭和 51 年の春 J A 5 I Q P 合田口さんの推挙により、当時 J A R L 香川県支部長だったAGさんにお会いしたのが始まりでした。そして J A R L 香川県支部のお手伝いをする事になり、以来 27 年になります。

ふりかえると、そのころ香川県支部で大きな行事と言えば支部大会とソフトボール大会でした。坂出市で行われたソフトボール大会で 300 人以上の家族や仲間が集うなかでAGさんとの会話「TOPさん、今日はどこかの幼稚園かなんかのクラブが来ているのかな？」と聞かれた。そちらへ目をやるとまさしく、それらしき団体の何人ものお母さんと手を引かれた小さな子供たちの一団がグラウンド内を移動していました。「あれは〇〇チームの家族応援団ですよ」と答えると「アマチュア無線はいいねえー、若い人がたくさんいて益々盛んになり、夢がある。」と目を細めてたいへん喜んでいたのが印象的に私の記憶に残っています。

又、お孫さんの亮さんと共にマラソンコンテストでもよくコンテストレポートを交換していただきました。

そのほか J A 5 M G 稲毛地方本部長、後任支部長さんも相談で自宅まで押しかけてもニコニコしていたのを思い出します。

そんなAGさん、アマチュア無線をこよなく愛した香川のアマチュア無線育ての親と思っています。本当にありがとうございました。

お通夜の日 J A 5 I Q D 越智前支部長と共に最後のお別れとなりました。安らかに眠りください。



ソフトボール大会開会式



# J A 5 A G 太田OMの思い出

J R 5 E H B 吉田秀司

J A 5 A G太田OMの突然の訃報をお聞きし残念でなりません。

太田OMは丁度 25 年前、私が開局前SWL (JA5—3278)をしていた頃に、HF 帯ではたいへんアクティブな方でした。当時は毎日のように元気なお声が聞こえてきました。私が何度か出したSWLカードにも毎回お返事のQ S Lカードを頂きました。その後高校生の時、初めて参加した昭和 53 年度の香川マラソンコンテストでは、SWL部門で太田OMを含みたくさんの県内局をHF帯でワッチして初入賞し、翌年高松市の天神前で開催のJ A R L香川県支部大会で、当時香川県支部長の太田OMから賞状と優勝カップを頂いて大感激したことが思い出されます。

その後、何度か支部大会でもお孫さんらと共に参加されており、また、香川クラブ 50 周年の記念式典でもアイボールいただき、たいへんお元気という印象でしたのに全く残念です。

支部大会の挨拶の席上でも、司会の方の『J A 5 A Gさん、太田OMどうぞ。』の声に、壇上に上がった太田OMからは『えー爺さんのAGです。』と明るくユーモアたっぷりのご挨拶をなさったことがまるで昨日のように思い出されます。

そんな太田OMと私の最後の交信は1992年の暮れの事です。丁度その年の香川マラソンコンテストに7メガのCWで参加していた私は144メガのFMでCQを出して応答していただいた太田OMに恐れ多くも無理やり7メガCWへのQ S Yを依頼し、『もう何年も電信には出た事が無い・・・』とおっしゃりながらも電鍵を探し出し、快くQ S Yに応じてくださったのです。太田OMの優しいお人柄に接する事が出来ました。それがまさか、OMとの最後の交信になるうとは、当時は思いもよりませんでした。その後も何度かお声が聞こえておりましたが、交信する機会がありませんでした。



四国の、いいえ日本の偉大なアマチュア無線界の重鎮たる大先輩を失い悲しみに耐えません。

太田OMのご冥福を心よりお祈りいたします。

## 太田OMに謹んで御冥福をお祈り申し上げます。

J E 5 P B O 岡田 光



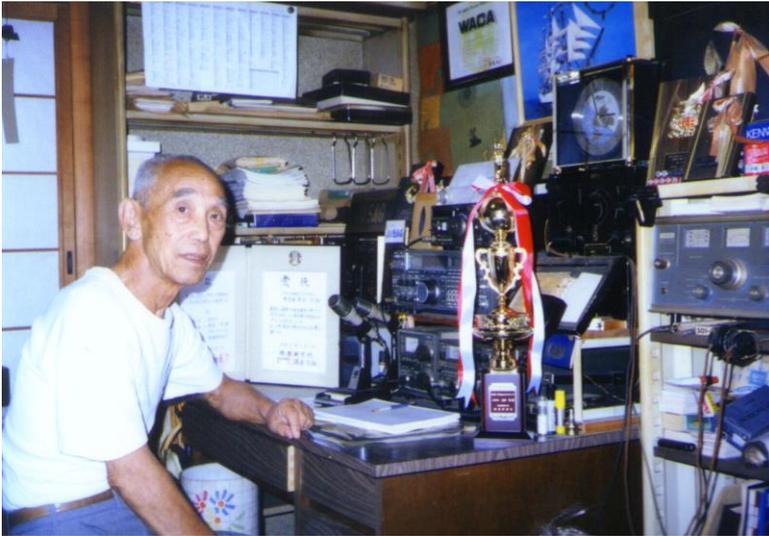
太田OMとはクラブ創立 50 周年記念式典でお会いし、お元気そうなお姿を拝見してまだまだ私達を御引率いただき、創立 60 周年～70 周年と楽しみにしておりました。とても残念です。

太田OMが現在のアマチュア無線の発展に御尽力された事は、諸先輩より伺っておりました。当局が生まれる以前よりアマチュア無線の発展と共に香川クラブを発足され、今日まで数えきれない御努力と御尽力された事に頭が下がります。現在、私を含めて数多くのアマチュア無線家が活躍されているのは偏に太田OMの功績だと思います。

これからもアマチュア無線界と太田OMが発足された香川クラブが益々発展し、先輩の功績を汚す事の無いように私達は努力してまいります。太田OMに見守られながら・・・ 合掌

## 心よりご冥福をお祈り申し上げます。

JH5WMN 山口博司



無線機から流れるいろいろな局の声を聞いていて、ともすればラバースタンプの味気ない会話ばかりが目立つ中、太田OMの落ち着いた味のあるQSOをワッチして、「ああ、こんなふうに出来たらなあ」と思ったものでした。アマチュア無線の原点を感じさせて頂いた気がします。

JF5EHD 土器 隆

私は太田OMと面識はございませんでしたが、香川のアマチュア無線の先駆者として、お名前はお伺いしておりました。

今、私が無線ポケット通信でアマチュア無線を謳歌していただけるのも、ひとえに太田OMのご尽力によるものと思います。太田OMの志に、ほんの数ミリでも近づくことが出来ますように無線ポケット通信の灯を絶やさずに頑張りたいと思います。

太田OMのご冥福をお祈りいたします。

## 太田OMのご逝去に謹んでお悔やみを申し上げます

JI5XTP 坂内信洋

私は太田OMにお会いしたこともお声をお聞きしたこともありませんが、皆様方のお話しによりますと、JARL香川県支部長やJARL香川クラブの会長を長年にわたって歴任され、後輩の育成にご尽力されるなど、太田OMがアマチュア無線にかけられた情熱には計り知れないものがあるとお聞きしました。しかし、当クラブには太田OMに負けなくらい、アマチュア無線に情熱を注いでいるOMさんは大勢おられます。これからも当クラブが活躍できるよう見守ってください。

私はアマチュア無線を初めてまだ3年足らずの若輩者ですが、太田OMのご生前中にお会いしてアマチュア無線についてのご指導をいただけたらならばと悔やまれてなりません。

P.S.

太田OM、私のしょぼい電波がお空でうろうろしていたら掴み取ってアフリカ方面に投げてください。まだ、アフリカと交信しておりませんので助けてやってください。

それでは、いつの日にかお会いしましょう。 73

さようなら。



TNX DR OM CU AGN GL !!

JH5LYW 三好伸幸

私がOMと初めてお話しをしたのは何時だろうと思出した時、たぶん「世界コミュニケーション年特別記念局（8 J 5 W C Y）」の時であったと思う。

2アマの合格を機に、かねてから入会を勧められていた「JARL香川クラブ」の一員に加えてもらい「8 J 5 W C Y」のお手伝いをしている時にOMから声をかけていただいた時と記憶している。

その後、クラブの総会や忘年会など行事の都度ご一緒させていただき、よくいろいろなお話を聞かせてもらったものである。その中で、最も印象深いのは「まだ日本でアマチュア無線が許されていなかった時代からHAMをやっており、J 4 C Mと言う戦前のコールサインで出ていたよ。HAM人生は〇〇年以上になるかなあ」と自慢していた事である。

最後にそれを聞いたのは〇〇年が70年である。

私が生きてきた以上の長い間アマチュア無線を楽しんでこられたOMに感嘆と賞賛をしたものである。

私がクラブに入会した時も、JARL香川県支部のお手伝



いをさせていただくことになった時も、すでにOMは主な役職から退かれておられたが、その中で「8 J 5 W C Y」始め特別記念局や「JARL通常総会（瀬戸大橋総会）」、県の支部大会、クラブの各種行事など節目節目でいつもそばにOMがおられ、いろいろアドバイスをいただいたり気を使っていたものである。

いつだったか「車に乗るのが億劫になった」と言われていたことがあり、クラブの行事に誰か迎えに行き行って貰ったりしていた。しかし、「無理をして来てもらっても気の毒では」ということで、だんだん回数も減り晩年

は行事に顔を出す事もめっきり減っていたのだが、今考えると「それで良かったのか」と後悔がある。

また、「耳が聞こえづらくなり、最近は無線もあまりしていない」と寂しそうに言われていた事も思い出される。

OMのログ帳には昨年まで交信の記録が残されていたと聞いて、何かしら妙にホッとした気分になされた。

いつも笑顔で温かく見守っていただいた太田OM、本当にありがとうございました。私が行った時はまたいろいろ教えてください。



TNX DR OOTA OM CU AGN GL BEST 73!!

# 太田OMのご冥福を心よりお祈り申し上げます

## JARL香川クラブ会員一同



JA5 AA	久米正雄	JA5 AB	田中 実	JA5 AF	大塚政量
JA5 AP	川西太郎	JA5 CH	能祖嘉吉	JA5 DB	土居憲吉
JA5 MG	稲毛 章	JA5 OA	奥野 学	JA5 UY	長尾浩孝
JA5AHM	天野英弘	JA5BQL	板坂国夫	JA5CBF	天野己代子
JA5CSS	稲毛キミ子	JA5DZM	長尾和子	JA5EMM	苧側正明
JA5ETK	佐藤康弘	JA5IJL	林 博次	JA5IMF	佐藤充子
JA5IQH	清原製允	JA5IQP	合田口正春	JA5IRP	人見和郎
JA5KZK	喜多 信	JA5MIK	新名 等	JA5OIA	人見紘美
JA5OIB	合田口キヨ子	JA5OMQ	森塚 薫	JA5PNI	星野尾 力
JA5TFJ	横田寿夫	JA5TOP	平賀正明	JA5VOB	能祖一裕
JH5ANO	新名タカ子	JH5BKC	細谷正文	JH5DCW	横田ツヤ子
JH5EZB	三木博之	JH5EZC	田井利幸	JH5LTR	苧側純子
JH5LYW	三好伸幸	JH5PMZ	多田敬一	JH5PRJ	三好美智江
JH5RYG	佐藤 弘	JH5UEY	平賀涼子	JH5WMN	山口博司
JR5AEB	喜多三代子	JR5EHB	吉田秀司	JR5GCM	佐藤艶子
JR5GCN	佐藤友紀	JR5GCR	長尾祥弘	JR5GLO	谷本清司
JR5IFQ	山口幸子	JR5IKV	多田喜久子	JR5MPO	今村忠明
JR5QWJ	稲毛恵子	JR5QWK	稲毛由美子	JR5VKZ	平賀幸子
JR5VSG	菊田真寿美	JE5BYS	東原正則	JE5EOQ	広瀬憲二
JE5GOA	平賀恭子	JE5IKW	三好勝博	JE5PBO	岡田 光
JE5UKD	東原明子	JE5UMU	苧側明子	JF5BJB	東原正和
JF5EHD	土器 隆	JF5EYM	原 弘美	JA5ICA	向井勝一
JF5ICB	向井一恵	JF5MED	山田章登	JF5PMA	林 美代子
JF5PMB	林 昌隆	JG5CSG	天野伊知郎	JG5LYZ	谷本英彰
JG5OBX	丸山 博	JG5RST	細川和真	JG5TJJ	山田知子
JI5DLC	藤田久雄	JI5IZJ	山口浩平	JI5JZJ	山口 昇
JI5LTD	苧側郁恵	JI5LTE	苧側裕理	JI5SAO	丸山 誠
JI5VWA	大浦さつき	JI5XTP	坂内信洋	JH5YLK	三好純子



**JA5AG**



# 太田さんの思い出

J A R L 香川県支部長

J A 5 A R W 森國幹夫

私がラジオ少年からアマチュア無線に興味をもち出した昭和 36 年頃、太田さんが初級アマチュア無線技士の国家試験対策講習会を開催したことが新聞に載っていました。

その後、当時通っていた坂出工業高等学校の放送設備を更改することになり、太田さんが工事を担当され、その工事のお手伝いをしたのがお付き合いの始まりになりました。

その頃の連盟は四国支部でしたが、やがて現在の香川県支部が誕生し、太田支部長のもとで支部のお手伝いをすることになりました。

連盟の支部長連絡会では、活発に発言され理事や会長にも一目おかれるOMであったと伺っています。

支部の活動としては、現在に続いているマラソンコンテストの生みの親で『錆付いているBAND やSWを廻して、年の暮れの挨拶を』との提案で始まり、香川県支部の基礎を築きそして発展へと導いて下さいました。

私どもがアマチュア無線を楽しめるのは、太田さんを始めとした戦前からアマチュア無線をされているOMのお陰と感謝しています。



## J A 5 A G 太田OMを偲んで

J A R L 四国地方監査長

J A 5 C K S 井上 高

私が太田OMと出会ったのは、昭和 48 年頃の高松市民会館での支部大会だったと思います。

当時、私は大阪から坂出市に帰郷。初めての支部大会に参加し 7 MH z のアンカバーについて質問したときに答えて頂いた方が、当時支部長の J A 5 A G 太田OMでした。

その後何年かして監査指導委員に任命され、現在まで監査指導の世話をすることになりましたが、これも太田OMと何かの縁でしょうか。

太田OMは本物のマチュア無線家らしく、家人の方曰く「人生の最期までアマチュア無線を楽しみ、入院前日まで自分の食事は自分で作り、他人のお世話になるのがあまり好きでは無く、愚痴も

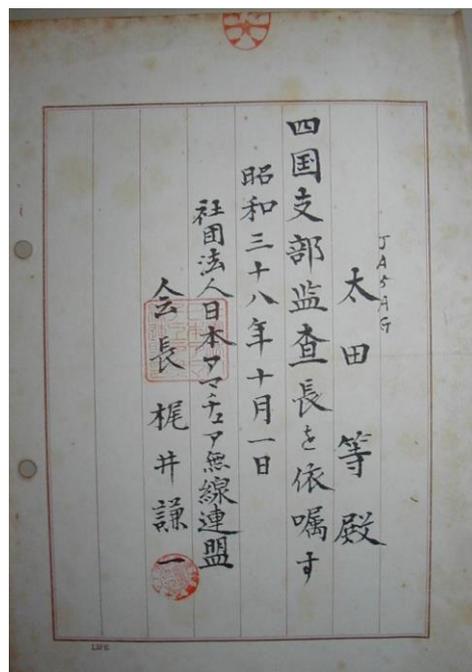
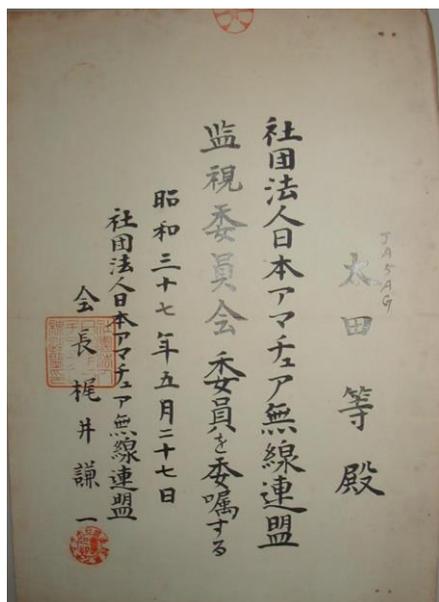
あまり言わなかった良い父でした」との事で、本当のアマチュア無線家らしい自己完結の人生を送ったと思います。

今後は、アマチュア無線界の発展を願って天国から見守って下さることでしょう。

本当にありがとうございました。

— 合掌 —

— 19 —





旅行先にてご夫妻で

J A R L 香川県支部幹事  
J A 5 U V T 詫間 哲

J A 5 A G 太田 O M の葬儀に私も参列しました。  
晩年はアマチュア無線中心だったようで、出焼香も本部長、支部長が一番でした。  
喪主 息子さんの挨拶でも様子がうかがえました。  
直前まで元気だったようですが肺炎で—— 享年 88 歳  
意志を引き継ぎアマチュア無線の継続発展に努力したいと思いました。

創立 30 周年おめでとう

J A R L 香川県支部長  
J A 5 A G 太田 等

クラブ創立 30 周年お目出度う御座います。  
同じ趣味を持った者の集まりとは良いものですね。それだからこんなに永く続いたのでしょう。  
戦後のどさくさの中、又アマチュア無線をやろうじゃないかと集まった 20 余名で設立したのが、J A R L 香川クラブ。以来通算 20 年ばかり会長をやらせて頂いた思い出を振り返って感無量です。  
当初の会員中戦前のコールを持って居た方々は、

- |                          |                 |
|--------------------------|-----------------|
| J 4 E A 岡本 良雄 氏          | J 8 C H 滝川 正巳 氏 |
| J 4 D E 大塚 政量 氏          | J 4 C L 西山 始 氏  |
| J 8 C L 大西 千秋 氏 (徳島県三好郡) | J 4 C M 太田 等    |

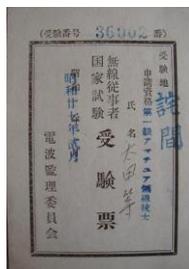
の以上 6 名。

SWL ナンバーを持った人も 7 名いましたが、其のメンバーが J A 9 - X X。どうして J A 9 が四国なのか当時 J A R L ニュース (C Q 誌) を調べても見あたりません。私も忘れまして H i !!

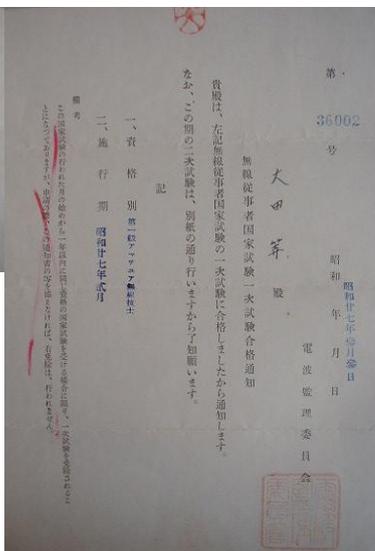
昭和 25 年当時のクラブ会費は年額 6 0 0 円。少々高いようです。ですから毎月 5 0 円集めて居りました。今も昔も会費の徴収には頭を悩ましたものです。

( J A R L 香川クラブ創立 30 周年記念誌より抜粋)

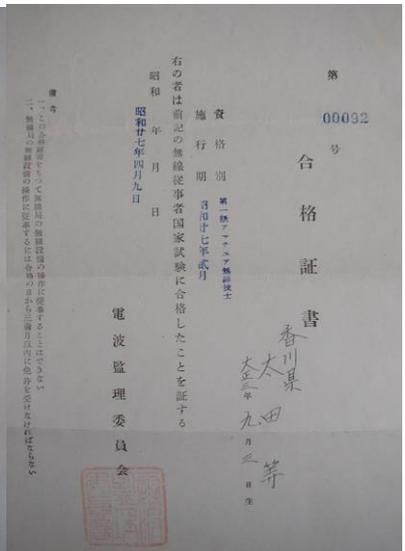
- 左写真  
昭和 27 年 2 月  
第 1 級アマチュア無線技士  
無線従事者国家試験  
の受験票  
(受験地：詫間)



- 中央写真  
同年 3 月 3 日  
一次試験合格通知書



- 右写真  
同年 4 月 9 日合格証書  
(No. 00092)



# AGさん有難うございました

JA5IQD 越智繁彬

4月3日(木)午後、AGさんの家族の方から電話があった。「今朝、父が亡くなりました。何方にお知らせしたらいいのかわからなくて、取り敢えず・・・」。

突然の訃報に慌てながら、お通夜や告別式の日取りなどを詳しく聞いて、E-mail アドレスの分かっている方にはお知らせした。←

雲が低くたれ込めた日暮れの国道を高松市藤塚町のお通夜の席へ向かう。ラッシュの中を車の運転をしながら、アマチュア無線のイロハから手解きをしていただいたAGさんにあれこれと思いを馳せる。開局して間もない頃、「全四国交信賞」の申請に築地の太田ラジオへお邪魔したことがあった。アワ



ードの申請方法も分からないままに、申請条件に合う QSL カード 26 枚を揃えて持参した。忙しい仕事の合間をぬって、アワードの申請方法やサマリーの書き方など申請書を示しながら初心者にもよく分かるように指導していただいた。普通なら申請書を書き直して出直しというところだが、ここからがAGさんの素晴らしいところだ。「では申請書を書いてきますから…」と言うと、「QSL カードが揃っているし、私(支部長)が見たんだからこれでええ!」と行って受け付け、JA5-108位の全四国交信賞を頂いた。右下隅に、小さく【太田】の印を押してある全四国交信賞は、アマチュア無線への入り口で最初に出会った宝物だ。(写真)

支部長を仰せつかった時も、当時私が勤務していた民放の報道局へ電話があり、何事かと電話口にでると、「太田です。あなたに支部長をお願いしたいが…」仕事が忙しいと辞退すると畳み込むように「私が決めたんだからお願いしますヨ!」と行って電話を切ってしまった。温厚で融通の利く反面、指導力もある優れたリーダーだったと思う。

阪神・淡路大震災の前年(1994)、神戸市の「神戸国際展示場2号館」で開催されたJARLこうべ総会には、県支部の仲間と一緒に参加された。(写真)

AGさんは、全国各地で開催されるJARL総会には毎回出席され、仲間と会うのを楽しみにしていた。

1995年3月4日、レオマワールドで開催されたJARL原会長を迎えての香川県支部大会前夜祭でも、アマチュア無線黎明期からAGさんが育てた支部会員や



家族が集い、話しに花が咲いたこともあった。

香川YLクラブには創立から尽力し、YLさん・XYLさんには人気があった。(写真)

お通夜はご家族・ご親族・ご子息の勤務先の同僚の他は、ご近所の親しい方とアマチュア無線関係では私とTOPさんの二人。

特別にご家族の許しを得て、TOPさんと二人で棺のAGさんに対面し、お別れと永年のお礼を述べさせていただいた。いつも通りの笑顔がこぼれそうな安らかなお顔の近くには、ご家族の計らいで、「無線従事者免許証」、JA5AGと印刷されたQSLカードそれにJCC、JCGのチェックリストがそつと添えられてあった。



AGさん有り難うございました。天国でもアマチュア無線を楽しんで下さい。

73!

## J A 5 A Gさんを偲んで

J A 5 A B Y 片岡義和

AGさんに最初にお会いしたのは、1961年全国で初めての学校クラブ局J A 5 Y A Aの開局の後に、塩上町のラジオ店を開局のご挨拶をかねて訪ねた時だったと思います。学生服姿の我々を快くニコニコとした笑顔で迎えていただき、アマチュア無線のイロハを丁寧に教えていただいたのはついこの間のように思われます。

連盟の事業に監査指導業務が入り、AGさんから手伝って貰えないかと声をかけられ、以来監査指導関係で17年間お世話になり、また、地域クラブの設立や連盟関係の行事でご指導を仰いだのですが、いざ何かを書こうとしても何も書けないのがAGさんなのです。四国の連盟の中で、いつもJ A 5 A F大塚OMの女房役として一歩退いたところで人間関係を調整し連盟を盛り上げてきた存在意義は大変なものがありました。今考えると連盟でのAGさんは空気のような存在だったのでしょうか？なかなか凡人には真似のできない素晴らしい人間性の持ち主だったと思います。

人生の大先輩のお人柄に少しでも近づければと思いを馳せ、AGさんのご冥福を心よりお祈り申し上げます。



## J A 5 A Gさんの思い出

香川Y Lハムクラブ会長

J A 5 C V H 片岡芙美子

J A 5 A G太田OMとの思い出。それは我が香川Y Lハムクラブ誕生にご尽力くださった事と聞いています。それまでも四国支部大会や県支部大会、J A R L香川クラブの行事で何度もお会いしていますが、直接お話することはコンテストのナンバー交換の時ぐらいでした。

設立以来ずっと顧問をしていたので、支部大会の時のY Lミーティングにはよく出席されていました。私たちがおしゃべりに花を咲かせているときも、いつもにこにこ優しい表情で聞いておられた印象が残っています。毎日朝、昼、夜とあれほどにぎやかだったお空でのミーティングも今は寂しい限りですが、アイボールミーティングは欠かさず続けていて楽しいひとときを過ごしています。

これからも長〜く続けていこうと各局で話しあっています。AGさんのおかげで出会えた友達を大切にしていきたいと思っています。



# 太田さんの思い出

JA5JGV 大塚 隆

JARL香川県支部長の太田さん、アワードハンターの太田さんについてのお話は、諸兄に譲ることにして、ここでは父(JA5AF)から聞いた太田さんのDXingを紹介したいと思います。

夕方アフリカ・モザンビークの局が出てパイルアップになっており、父は暫くコールしたが途中でQSOを諦めてQRTしたそうです。後日、その話を太田さんにしたら、太田さんは雑誌(CQ ham radio誌でしょうか?)を読みながらワッチを続けていて夜半頃コールしてQSOできたそうです。半世紀近く前の出来事だと思いますが、父と話をしていて太田さんの名前がでると、つい最近の事のようにこの話をします。

短期間でアマチュア無線をやめてしまう人が大勢いるときに、70年間アマチュア無線を楽しまれたのは、このあたりに秘訣があったのではないのでしょうか。

今も天国で珍しい局を見つけてコールするチャンスを待ちながらワッチを続けていることでしょう。



## 太田さんお世話になりました

JA5FXJ 石川克秋

太田さんは、公私に渡って私にさまざまな影響を与えてくれました。

その一つが、私の生涯の趣味となったアマチュア無線との出会いです。たまたま太田さんと家が近かったためか、夜、寝床に入りトランジスタラジオで7MHzを聞いていたら、太田さんの信号が聞こえてきました。相手の声は全く聞こえませんでした。その時「おもしろそうだなあ」と思ったのが、始まりだった気がします。

それから、自宅に伺っていろいろ話をさせていただいたこと。これがアマチュア無線の免許受験のきっかけでした。免許を取得してからも、始めたばかりの頃は、TVIをまき散らし稲毛OMから「対策をして下さい」とハガキをいただいたり、ご迷惑をおかけしたこともありました。そんな時も、太田さんにいろいろ教えていただきました。思えば、「どうして?」「なんで?…」と頼ってばかりで、かなりお仕事の邪魔をしていたと思います。

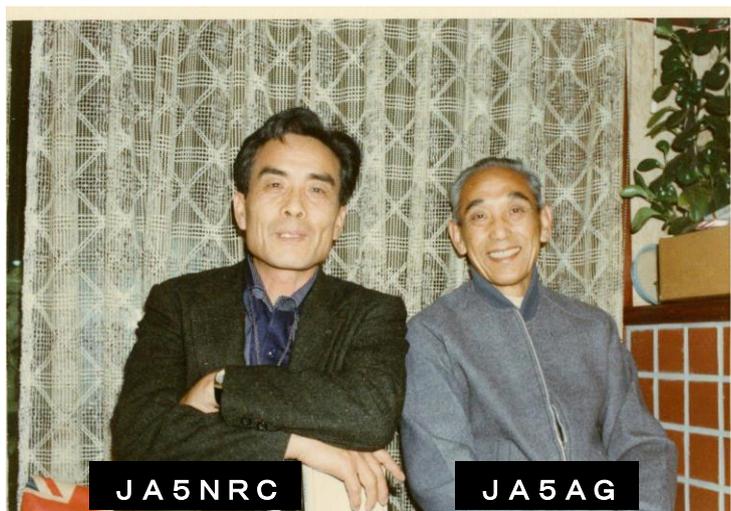
また、プライベートだけではなく、職場でも大変お世話になりました。知り合っただけでしばらくたった頃、太田さんと同じ職場で一緒に仕事をすることになったのですが、その時も通信全般の勉強をさせてもらいました。太田さんにしてみればかなりできの悪い最後の生徒だったような気がしますが、根気よく丁寧に教えていただいたことを覚えています。何か問題が起きて、常にそれに対する答えを持ち、慌てず騒がず冷静に対処。太田さんが怒るようなことは記憶にないほど、いつもおだやかに接していただきました。

こんなこともありました。上級の試験を受けた時、偶然高知に仕事で出張中だった太田さんに、毎晩キーを打って頂いて練習しました。2週間でモールスをマスターすることができたのも、そのおかげだと思っています。お世話になった思い出は、数えきれないほどあります。

全くの畑違いである私が、曲がりなりにもこのような仕事ができるのも、今現在あるのも、太田さんのおかげだと思います。ありがとうございました。本当にお世話になりました。



今日、太田さんの訃報をコマ-シャル先の新聞で見えて驚きました。



先日、栗林病院で私の孫が入院している時に病院でお会いし、その時はXYLさんが入院しておられるとお話したのが最後でした。

昔、太田さんと二人並んで写した写真があり取り出してつくづく眺めました。この写真を見ながら当時を思い出しております。この時は“明治会”についてお話をしました。太田さんは“明治会”に批判的でした。私も“明治会”の会員ですが、太田さんのご意向には賛成でした。

それについては、現在も変わっていません。

また、JARL香川県支部葬かJARL香川クラブ葬か情報があれば是非ご一報ください。

冥福をお祈りしましょう。 合掌

## JA5AG 太田 等さんのご逝去に際して

JARL 高知県支部長

JA5BM 西川正時

4月3日亡くなられたことを聞き、人間の定めとは言え残念な気持ちで一杯になりました。

昭和27年、戦後のアマチュア無線草創の時期から今日まで、終始一貫してアマチュア無線を愛し、いろいろな役職を歴任され、後輩の指導にご尽力されました。この功績は筆舌に尽くせません。感謝の気持ちで一杯です。

私も開局は比較的早い方でしたが、昭和41年からJARL四国支部の監査指導委員で初めて太田先輩のご指導をいただいたものです。当時TVIが非常に多かったものですから、監査長の太田さんのご苦勞は大変なものでした。しかし、いつも飄々として屈託のない笑顔で真剣に話された姿が忘れられません。県支部長として10年間のご指導も大変ありがたいものでした。若輩の私を適切なアドバイスで支部運営のあり方を教えていただきました。昭和47年から今日まで支部長が何となく務まったのも太田先輩のお陰であると思います。四国のアマチュア無線草創の一時期は、OMの逝去によって語り部が一人消えて行きましたが、残された業績は私たちがしっかりと守り育てて行かなければならないと決心しております。



携帯電話の時代にこそ、昔のアマチュア無線精神をきっちりと見つめ、本来のアマチュア無線を広めて行くことが太田さんに捧げる最大の供養になると思います。

# J A 5 A Gさんの思い出

J A R L 評議委員

J A 4 K I 吉岡 謙

私がAGさんに最初にお目にかかったのは、J A R Lがまだ法人になる前のJ A R L総会場で、私の地元のOMに紹介していただきご挨拶申し上げたときのように記憶しています。

その後も、J A R Lの会議ではよくお目にかかりましたが、温厚なお人柄と独特の優しいしゃべり方で、心の安らぐ人格の持ち主でした。

昭和41年の終わるか翌42年の始めに、御地のアマチュア無線の集まりが高松市で開催され、隣県のJ A R L役員ということでご招待いただきました。その時迎えてくださったのがAGさんで、いろいろとお話している時に「私の家内は高松市扇町の出身です」と申し上げたところ、大変喜んでくださり「うちの女房は、あんたの住んどの倉敷市から来とるけん、あんたとは反対じゃ」とおっしゃり、この時以後、一層AGさんとの間が近くなったように思います。

全国支部長会の時に、支部運営について激論を闘わし、アマチュア無線のことになると温和なAGさんが闘士に変わる姿も拝見し、AGさんのアマチュア無線に対する情熱の深さに感服したものでした。

AGさん、今後も遠くから私達後輩をお見守りください。

永い間本当にありがとうございました。

J F 6 X Z U (ex J H 5 D J T) 木下師博



J H 5 D J T

前川忠夫香川県知事

太田OMのご冥福をお祈りしたいと思います。

アマチュア無線をこよなく愛され、偉大な貢献は讃えられることでしょう。

お幾つだったのですかね。いつまでも心に残る先輩ですね。

たくさん素晴らしい後継者を残して、安らかに眠り戴きたいと思います。

一合掌一

**記事の都合上、記載順序は不同です。また、誤字脱字などはご容赦ください。**

## <J A 5 A G追悼集の編集に当って>

4月3日、香川県下のアマチュア無線界に衝撃が走りました。

今まで、太田OMがJ A R L香川クラブはもちろんアマチュア無線界に貢献してこられたこと、太田OMが残した功績などに対して報いることができないまでも、何かできないだろうか考えた時、各局の太田OMに対する惜別の想いを文章としてまとめてみたいと考え「J A 5 A G追悼集」の企画が生まれました。

各局の心の中から太田OMが消える事はないでしょうが、時々はこの追悼集を読み返して太田OMを思い出して下さることが何よりの供養になるのではないかと思います。

各局には、これからも太田OMの分までアマチュア無線を楽しみ、J A R L香川クラブを始めアマチュア無線界の発展にますますのご協力をいただけますようお願い申し上げます。

(LYW)

# JA5AG 太田 等OMのアマチュア無線歴

大正3年9月3日 生

昭和 9年2月20日	J4CM 高松市で開局
昭和27年10月	JA5AG 開局
昭和25年4月～33年3月	JARL香川クラブ会長
34年4月～44年3月	JARL香川クラブ会長
44年4月～46年3月	JARL香川クラブ名誉会長
46年4月～47年3月	JARL香川クラブ会長
47年4月～56年3月	JARL香川クラブ名誉会長
56年3月～現在まで	JARL香川クラブ名誉会員・技術役員
28年4月～47年10月	JARL四国支部役員
38年10月～43年10月	JARL四国支部監査長
35年4月～37年3月	JARL評議員
37年5月～不明	JARL監視委員会委員
47年11月～57年5月	JARL香川県支部長
55年7月～不明	JARL周波数委員会委員
57年6月～現在まで	JARL香川県支部顧問

## ★JARL功勞表彰受賞

昭和37年 7月	アマチュア無線再開10周年記念表彰
51年 9月	JARL創立50周年記念表彰
57年10月	アマチュア無線再開30周年記念表彰
61年11月	JARL創立60周年記念表彰
67年 7月	アマチュア無線再開40周年記念表彰
平成 元年12月	JARL法人化30周年記念表彰
8年11月	JARL創立70周年記念表彰

## ★JARL正員表彰受賞

昭和42年 9回総会	正員30年表彰
63年 30回総会	正員50年表彰
平成 6年 36回総会	正員60年表彰
来年	正員70年表彰受賞該当

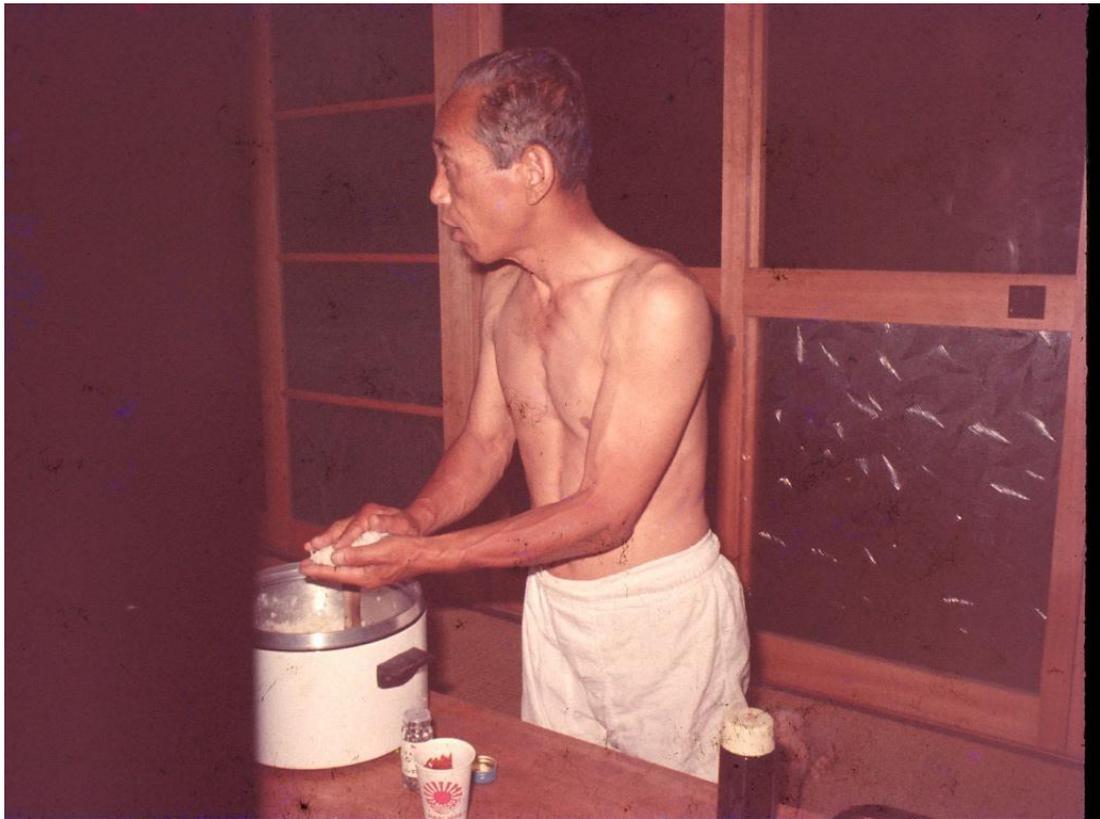
## ★四国電波監理局長表彰受賞

昭和43年6月1日 電波の日

## ★JARL養成講習会講師担当

昭和42年より20数年担当

平成15年4月3日 没



JARL 香川クラブ報  
(JA5AG追悼集)

11, JUL, 2003 発行

発行責任者	JA5AHM	天野 英弘
編集者	JH5LYW	三好 伸幸
	JH5WMN	山口 博司
	JE5PBO	岡田 光